

このメディアに含まれるデータ（自然環境情報GIS）について

令和4年3月

環境省自然環境局 生物多様性センター

1. はじめに

自然環境情報GISは、環境省生物多様性センターで実施している自然環境保全基礎調査（以下、「基礎調査」）の成果のうち、自然環境に関係する地理情報を地理情報システム（GIS）で利用しやすいようにまとめた電子データのセットです。

今回一般提供されるデータは、平成29年度から実施している「気候変動適応計画推進のための浅海域生態系現況把握調査」で作成したものです。

2. データ内容について

（1）ファイルの種類と形式

図形ファイル（ベクタデータ）：shp形式。「.shp」「.shx」「.dbf」の三種類で1セットとなります（なお「.prj」ファイルは、米国ESRI社製ArcGISにおいてシェープファイルの座標系等を読み込むためのファイルです）。

属性ファイル（各図形ファイルの詳細な属性データ）：各種表計算ソフト、データベースソフトなどで利用可能なcsv形式。ただし一部のファイルはデータ量が多いため一般的な表計算ソフトではご利用頂けない場合もあります。

凡例ファイル：米国ESRI社製ArcGIS Ver. 8において、凡例を作成するためのレイヤーファイル（lyr形式）

（2）座標系

世界測地系（WGS84）に基づく10進経緯度座標系で作成されています。

（3）位置情報の精度

各情報の位置精度は、調査・地域・時期によって異なるため、複数のデータを重ね合わせた場合に境界線等が一致しないことがあります。

（4）情報の時間精度

調査成果の情報は、調査実施時点、または図面作成時点のもので、現状とは異なる場合があります。

（5）文字コード

日本語の文字コードはUTF-8を使用しています。

3. データ利用上の注意

（1）著作権と引用等の手続きについて

本データセットの著作権は環境省にあります。このデータを引用・利用・複製・提供される場合には、手続きが必要になります。

生物多様性情報システム（略称J-IBIS）にある下記ページをご参照のうえ、必要な手続きをお取り下さい。

「データの利用・複製の手続きについて」

<http://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>

（2）図形ファイルと属性ファイルの結合について

本データセットの図形ファイル（shp形式）の属性には、識別コード等が入力されています。各識別コードの内容（群落名など）は、属性ファイル（csv形式）に記載されていますので、これらをご参照下さい。

（3）基礎調査の内容について

各データは、基礎調査の調査票や図面のデータを電子化したものです。基礎調査の内容（調査項目、調査方法など）を詳しくお知りになりたい場合は、生物多様性情報システム（J-IBIS）で公開されている報告書をご覧ください。

<http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html>

（4）本データセットに関する問い合わせ先

環境省 自然環境局 生物多様性センター
403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1
Tel:0555-72-6033
Fax:0555-72-6035
ホームページ: <http://www.biodic.go.jp/>
E-mail: biodic_webmaster@env.go.jp

4. 参考

平成29年度 石西礁湖の調査を実施
平成30年度 久米島、宮古島、沖永良部島、多良間島及び与論島の調査を実施
令和元年度 奄美大島、喜界島、徳之島の調査を実施
令和2年度 聟島列島、父島列島、母島列島、西之島、火山列島、南鳥島、沖ノ鳥島の調査を実施
※聟島列島、嫁島、北硫黄島、硫黄島、南硫黄島、沖ノ鳥島、南鳥島、西之島については、現地調査を実施していないため、サンゴ礁推定分布図を作成した。
令和3年度 大隅諸島、トカラ列島の調査を実施
※屋久島・種子島以外の大隅諸島、口之島以外のトカラ列島については、現地調査を実施していないため、サンゴ礁推定分布図を作成した。

以上